

九条の会は、「戦争をしないと決めた憲法九条を変えてはいけない」の一点で、立場や考え方、世代の違いを超えて共同し、憲法を活かし、平和のための活動を行う会です。皆様のご支援をお願いします。

“平和のつどい”を開催

3月18日(日) 初春の「平和のつどい」が、長森コミセンにおいて、50余名の参加で開催されました。

つどいでは、地元細畑在住、岐阜沖縄県人会長の大城豊次さんの「沖縄を返せ」と題したお話しや、映像「やんばるからのメッセージ」などが行われ、また、平和に関するトークなどが行われました。



沖縄問題を語る、大城豊次さん

大城豊次さんのお話は「沖縄を返せ・沖縄に米軍基地はいらない」と題して、

大城さんは沖縄出身で、若い頃、ベトナムに向かう戦闘機を見て「戦争に加担している感じがしていやだった」と話されます。1970年、結婚して岐阜へ来た当時には、沖縄は米軍の統治下であり、パスポートが必要であった。

沖縄(琉球)の歴史についても話されます。沖縄には元来、戦争がなく豊かな文化の国であったわけで、古くは平安時代から、また、江戸幕府と薩摩からの侵入で、やすやすとその配下に組み込まれてきたという歴史があります。

前の戦争では、沖縄の住民が国土防衛の生贄(いけにえ)にされ、終戦後も永く占領下におかれ、「沖縄返還」がされたといっても、多くの基地の存在は、占領と同じ状態が今も続いていて、これは「沖縄を差別化する扱いである」と訴えます。

沖縄の基地に対し、政府は「抑止力」と言っていますが、本当に沖縄に海兵隊が必要なのか、「海兵隊は侵略軍だ」「平和日本には不要だ」と話されます。沖縄の基地問題は、その密集の異常さにおいても、これは差別であり、日本全体の問題として考えるべきであると訴えます。

DVD映像「やんばるからのメッセージ」…高江の記録は、まず、沖縄北部に位置する「やんばるの森」の豊かな自然の中で、繰り広げられる米軍訓練の異常な実態(人殺し集団としての)と、その訓練が住民の間近で行われている状態が映し出されてきます。

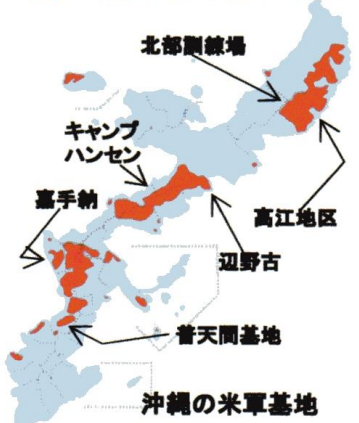
深夜11時にまで飛び交うヘリコプターの騒音、その騒音が耳につきます。危険なオスプレイの実態、引き起こされる多くの事故、いずれも住民を無視した基地の、想像を絶する実態が浮かび上がります。

また、基地の拡張に対する住民の訴えを無視し続ける政府の実態も映し出されています。沖縄から、日本全土から基地なくすたたかいを、「全国民の運動にしてゆかなければ」と強く感ずるものでした。

トークタイム…「私も言わずにいられない」と意見続出

初参加された方も多く、大城さんの話や映像で、沖縄のひどい状態を目のあたりにし、思わず「黙ってられない」と、発言が相次ぎました。感想にもあるように(裏面に抜粋記載)、米軍の異常さ、沖縄基地の異常さ、不合理さに対する強い憤り、また、基地撤去の運動への共感とその発展を願うものが多くをしめました。

オスプレイのその騒音の異常さ、危険な実態にも驚きの声が聞かれました。

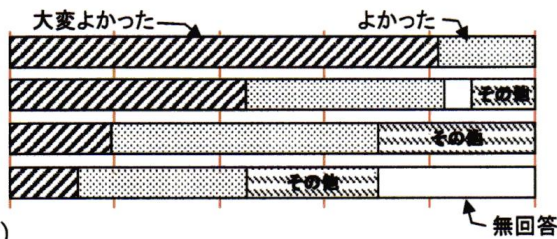


平和のつどいのもよう

平和のつどいアンケート結果（16通）

1) 催し内容

お話し
映像
トーク
ニュース展示



2) 催しは何で知りましたか

- ・賛同者への案内: 8名
- ・ビラ: 2名
- ・友人から: 2名
- ・無回答、他: 4名



3) 感想（抜粋）

【お話し】 沖縄を返せー沖縄に米軍基地はいらない・・・大城豊次さん

- ・沖縄の基地問題は、日本の全体の事としてしっかりと考え、反対しなければと思いました。（女性）
- ・沖縄出身の方のお話を生でお聴きし、問題の深刻さ、重大さを再認識させて頂きました。（男性）
- ・基地をなくし、豊かな沖縄の復活が一日も早くと望まれます。（男性）
- ・本日は生(なま)の話を書き感動しました。沖縄の歴史と現在の基地の問題を結びつけて話されたことに感動しました。素晴らしいお話でした。近年に久しぶりに涙と共に聞きました。
- ・沖縄の歴史、日本、アメリカの二重の支配を受けている。日本全国、特に沖縄から基地を撤去せよ！

【DVD】 やんばるからのメッセージ 高江の記録

- ・米軍基地の実態がよく解る映像でした。この基地を、一日も早く撤去させねばと思う。（男性）
- ・高江住民をはじめとした座り込みは、想像以上に厳しい闘いであることがわかりました。
- ・各務原から飛びたつ自衛隊機の騒音でテレビの音がかき消されてしまい、腹が立つことがあります。この何十倍もの騒音の中で暮らす沖縄の人達がどんなに大変なことかと思いやられます。
- ・オスプレイの飛行は全くひどいと思います。
- ・日本政府もアメリカも強引ではないか。軍事力に抑止力はない。ヘリコプターの映像音だけで頭が痛くなる。

【トーク】

- ・ベトナム戦争は、アメリカ対ベトナム戦ではない。沖縄の基地から戦闘機が飛び立っている以上、日本も加わって戦ったとしかいえない。（女性）
- ・全国民の運動にならない→本土と沖縄の温度差。身に詰まる重い大城さんの言葉。
- ・講演とDVDとで内容が深まったと思います。 ・迫力あり



【全体意見感想】

- ・日本の平和は沖縄の“捨て石”の上に成り立っていますね。いつまでアメリカの言いなりになればいいのか。いいかげんに“NO”と言うべき。（女性）
- ・沖縄の基地、県民の大多数が反対し、10万人規模の集会が繰り返えされている。それなのに、国は、これをとりあげない。この国は、ほんとうに民主主義の国と言えるのか。（男性）
- ・若い人の参加を集める工夫が欲しい。

資料

Google(インターネット衛星写真)で見る普天間

市街地の真ん中に基地があることが、よく読み取れます。



市民生活は、100デシベルにも及ぶ騒音と、事故への脅威の中にある。また、沖縄県試算では、基地の経済効果(交付税、基地労務費等)に比べ、撤去による土地利用による経済波及効果は、2.2倍とされている。Google写真では近傍の広大な米軍宿舎も拡大して見ることができます。

震災被害者置き去りの思いやり予算

米軍再編費 2兆3000億円（米監査院報告）

【日本国内】	米側負担	日本側負担
・空母艦載機の厚木から岩国へ移転	—	1134億円
・キャンプ座間/相模補給廠の再編	—	243億円
・米軍機訓練の空自基地への移転	—	243億円
・航空総隊司令部移転/横田基地再編	—	見直し提示なし
・沖縄での米軍基地統合	—	3402億円
・普天間基地の辺野古「移設」	—	2916億円
小計		7938億円
【グアム移転】		
・06年の日米両政府の合意	3402億円	4941億円
・米海兵隊の追加要求	5751億円	—
小計		4941億円
【北マリアナ諸島の訓練場】	1539億円	—
合計	10,692億円	12,879億円

1ドル81円で計算

3000億円で辺野古の海を破壊
(基地移転へ群がるゼネコンの姿も見え隠れ)